

入院患者の転倒・転落発生率 及び 損傷発生率

【指標の説明】

この指標は、転倒・転落予防の取組みが効果的に行えているかを評価する指標です。

当院では、電子カルテに付随する形でインシデントレポート報告システムが運用されており、職員が入力したレポートは医療安全部で取りまとめています。

発生した事例の追跡や発生原因の分析から必要な改善策を導き出すことができ、それを実践していくことで発生防止につなげています。

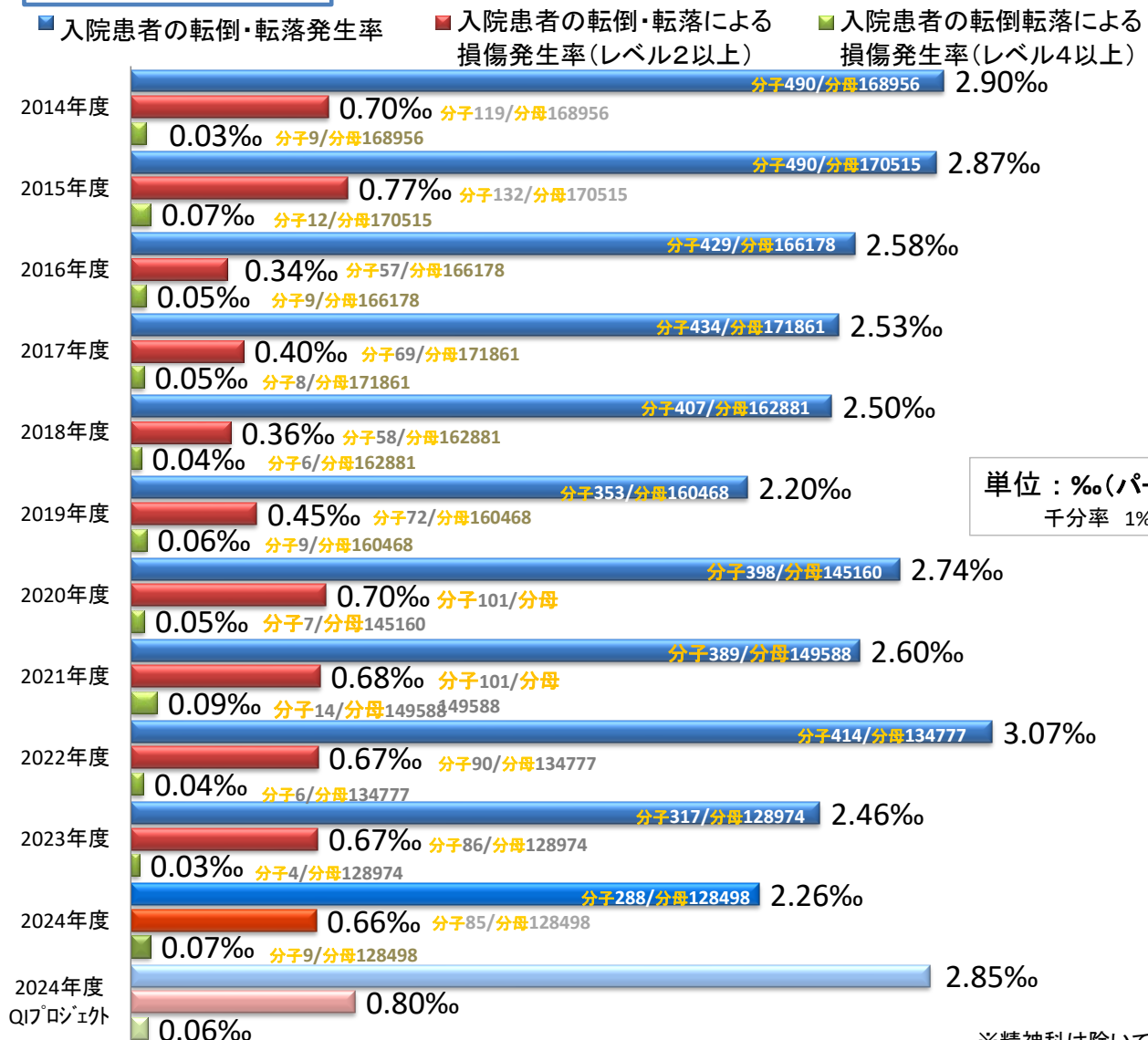
【定義】

日本病院会「QIプロジェクト」の定義に準じています。

入院患者の転倒・転落発生率	分子	医療安全部にインシデント・アクシデントレポートが提出された入院中の転倒・転落件数
	分母	入院延べ患者数
入院患者の転倒・転落による損傷発生率 (レベル2以上)	分子	上記のレポート提出件数のうち、損傷レベル2以上の件数
	分母	入院延べ患者数
入院患者の転倒・転落による損傷発生率 (レベル4以上)	分子	上記のレポート提出件数のうち、損傷レベル4以上の件数
	分母	入院延べ患者数

損傷レベル	内容
1 なし	患者に損傷はなかった
2 軽度	包帯、氷、損傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
3 中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4 重度	手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため診察が必要となった
5 死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6 UTD	記録からは判定不可能

岐阜県立多治見病院の推移



※精神科は除いています。

【改善への取組み】

